

交流情報誌

季刊

新往来

第35号 2009.12.15

【特集】企業・大学・NPO等の参入・連携による地域活性化への取組をご紹介します！



日本一巨大丸ポスト完成！
東京都小平市

農林水産省

季刊 新往来 第35号 目次

企業・大学・NPO等の参入・連携による地域活性化への取組 . . . 3

- 子ども達の元気づくりと地域振興にいとむNPO団体「山と川の学校」
(山形県最上町)
- 岐阜大学との連携による「金型関連産業の人材力強化」
(岐阜県大垣市)
- 企業と農村が連携する新たな取組「企業のふるさと」 (和歌山県)
- 子育て支援からまちづくりへ (佐賀県唐津市)

わがまち自慢 . . . 4

- 「いばらきの地魚」ご存じですか? (茨城県)
- 大豆とシジミで特産品 (茨城県茨城町)
- 金山緑地公園と金山調節池 (東京都清瀬市)
- 日本一巨大丸ポスト完成! (東京都小平市)
- 八王子市やまゆり咲かせ隊〜絶滅が危惧される市の花やまゆりの栽培に成功!〜 (東京都八王子市)
- はたや記念館「ゆめおーれ勝山」 (福井県勝山市)
- 和傘作りにチャレンジ! (岐阜県岐阜市)
- 大垣市の魚「ハリヨ」 (岐阜県大垣市)
- TAGA VILLAGE STATION 多賀「里の駅」
(滋賀県多賀町)
- 四季彩々くみはまSANKAIKAN (京都府京丹後市)
- 多くの梅の品種を集めた日本屈指の梅公園「世界の梅公園」
(兵庫県たつの市)
- 虹の松原と再生・保全活動 (佐賀県唐津市)
- 白ワイン「菊鹿ナイトハーベスト」アジア最優秀賞を受賞!
(熊本県山鹿市)
- 風光明媚の佐賀関半島めぐりと関あじ・関さば (大分県大分市)
- 伊計島 (沖縄県うるま市)
- 豊見城市ウージ染め協同組合 (沖縄県豊見城市)

わがまちの旨いもん . . . 8

- 伝統料理の食材を全国へ「埼玉くわい」 (埼玉県越谷市)
- 「玉ねぎドレッシング」で直売野菜をおいしく召し上げ
(埼玉県宮代町)
- 千葉ブランド水産物認定品 大原・太東産真蛸 (千葉県いすみ市)
- 成田産純米焼酎「成田舞」 (千葉県成田市)
- 福井のおいしいごはんのおともが本になりました! (福井県)
- 小浜の冬の味覚・若狭ふぐ (福井県小浜市)
- 大垣地域の特色を生かした「大垣いちおし製品」に3件を新規認定
(岐阜県大垣市)
- 浜のかあちゃんの味! 室津の魚魚市弁当 (兵庫県たつの市)
- 新パッケージ登場 衣奈そだち (和歌山県日高郡由良町)
- 幻の酒「雉酒」発売!! (愛媛県鬼北町)
- 荒尾を代表するスイーツセット「荒尾かぶれ」ができました from
創作菓子荒尾一心会 (熊本県荒尾市)
- ふるさとの味 佐伯「ごまだし」 (大分県佐伯市)

私達、輝いています . . . 11

- 地元発祥の伝統食を自分たちで「こびき家」
(和歌山県日高郡由良町)
- 唐津環境防災推進機構KANNE 事務局長 藤田 和歌子
(佐賀県唐津市)

交流・連携通信 . . . 12

- 烏帽子岳(えぼしだけ)林間広場を活用した交流活動
(岐阜県大垣市)
- 水源の里「古屋」へようこそ (京都府綾部市)

Let's農業 . . . 12

- 道の駅の農業公園で農業体験が大好評 (埼玉県杉戸町)

アンテナショップ . . . 13

- 「農産物直売所たいせつ」オープン (北海道旭川市)
- ナシ販売店マップ (岐阜県大垣市)
- 道の駅「にしお岡ノ山」開駅 (愛知県西尾市)
- 笠岡諸島の島おこしNPO「NPO法人かさおか島づくり海社」
(岡山県笠岡市)

わがまちのユニーク施策 . . . 14

- 南房総なめろうプロジェクト始動! (千葉県南房総市)
- 官から民へ「梅ワイン事業」を移行 (東京都東久留米市)
- 食と農のポータルサイト「おいしい茅ヶ崎」 (神奈川県茅ヶ崎市)
- 安心・安全な農産物を目指して〜元気たてやま認証農産品〜
(富山県立山町)
- 大垣市グリーン電力活用推進事業によるエネルギーの地産地消
(岐阜県大垣市)
- 砂浜美術館 Tシャツアート展 ~モンゴルでひらひら~
(高知県黒潮町)
- 棚田&彼岸花で都市農村交流! (福岡県川崎町)
- 「葦野の棚田」保全・活用事業 (佐賀県唐津市)

イベント情報 . . . 17

- 平成22年1月~3月までの期間に全国各地で開催が予定されているイベントの情報

農村振興局からのお知らせ . . . 31

- 平成21年度農林水産祭(むらづくり部門)の選賞
- 表紙の写真
日本一巨大丸ポスト完成!
(東京都小平市) p5

【特集】企業・大学・NPO等の参入・連携による地域活性化への取組

企業・大学・NPO等の参入・連携による地域活性化への取組事例をご紹介します。

子ども達の元気づくりと地域振興にこだわるNPO団体「山と川の学校」

山形県最上町

NPO団体「山と川の学校」は平成20年4月29日、大堀地区公民館に、地域の人たちの力を頂いて誕生しました。町の各種事業と公民館管理業務の委託を受けて、地域の人たちと活動しています。子供たちが外で遊ばなくなったことを心配し、山や川の自然の中で遊ぶことや農作業体験で、たくましく生きる力を与える「宿泊学習」など、健全なふるさとと子供たちの育成のための事業を開催しています。また、愛する地域を活性化するため、大堀地域活性化プロジェクトを立ち上げました。農山漁村（ふるさと）地域力発掘支援モデル事業の採択を受けたもので、アリエス・ジェミニ・レオなどかわいい星座の名前をつけたプロジェクトを内部に立ち上げ、街区空間デザイン、山川遊び、動画ライブラリー、農業による地域振興などにそれぞれ取り組んでいます。地域を起こす方策を模索しながら、これから船出して、いつの日か成果を得たいとみんな胸を高鳴らせています。

岐阜大学との連携による「金型関連産業の人材力強化」

岐阜県大垣市



大垣市を中心とする西濃地域には実力ある金型関連企業が集積し、堅調な業績を上げていますが、今後も技術力を維持し、さらに発展・飛躍して行くためには、優秀な人材の確保が欠かせません。

そこで、岐阜県、岐阜大学、地元金型産業会及び本市が連携し、金型技術の高度化・伝承を継続的かつ着実に実行し、創造的かつ意欲ある若手技術者を育成する知の拠点とするために、平成18年7月1日、岐阜大学内に「金型創生技術研究センター」を設立しました。

当センターは、岐阜大学の学生をはじめ、金型実務経験を有する社会人をも対象とし、高度な金型技術を修得する実践的なカリキュラムを提供しています。

また、センター設備を活用した市内金型企業従業員の研修や、市内高校生を対象にして、金型産業に関心を持ってもらうための「ものづくり体験」など、次世代産

業人材育成に関する様々な取組みが実施されています。
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~gcadet/>

企業と農村が連携する新たな取組「企業のふるさと」

和歌山県



近年、企業ではCSR運動（企業の社会貢献活動）が盛んに行われています。一方、農村地域では担い手の高齢化や後継者不足等により農地の荒廃等が懸念されています。

こうした中で、和歌山県では企業のCSR活動の一環として農村地域の資源を活用しながら、地域の方々とともに安全・安心な米づくりや地産地消の推進、地域の景観保全活動に総合的かつ継続的に取り組んで頂く、新たな仕組みである「企業のふるさと」を提案しています。

本年5月、その第1弾として「伊藤忠商事株式会社大阪本社」と和歌山県の霊峰高野山の麓の伊都郡かつらぎ町天野地区の「天野の里づくりの会」が協働・交流活動を開始しました。

取り組み内容については、水稻の栽培体験、世界遺産の保全活動、ホテルを守る活動等が実施されており、農村地域が「企業の第2のふるさと」となるよう継続した交流活動が実施されることになっています。

和歌山県では、この制度が農業・農村保全や地域活性化への新しい取り組みとして定着することを目指し、企業や農村地域への推進を行っています。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070900/hurusato/index.html>

子育て支援からまちづくりへ

佐賀県唐津市



唐津市の子育て支援の拠点として「NPO法人唐津市子育て支援情報センター」があります。このNPOは、

市民で組織された会議で発案され、市の支援によって誕生したものです。

設立当初は、子育てに関する情報を提供するだけの組織でしたが、今では、病後児保育、ファミリーサポートセンター機能も備え、子育てに関する総合組織として活躍しています。

特筆すべきものとして、行政、大学、農政局、農協、地域住民と連携した食育活動、地産地消活動の取組があります。

この取組は、子どもたちに美味しいものを食べさせたいという気持ちから、自分たちで麦を栽培し、パンやうどんをみんなで作って食べる活動から始まりました。

今は、大学と地元の方々と連携して、棚田を使った食農体験学習を展開し、食と農の大切さを市民に呼びかけています。

産、学、官、民と見事なまでの連携により、食育などを推進し、地域コミュニティを創出するなど、安心、安全な生活環境の実現を目指して活動しています。

<http://www.people-i.ne.jp/~kosodate/index.html>

大豆とシジミで特産品

茨城県茨城町



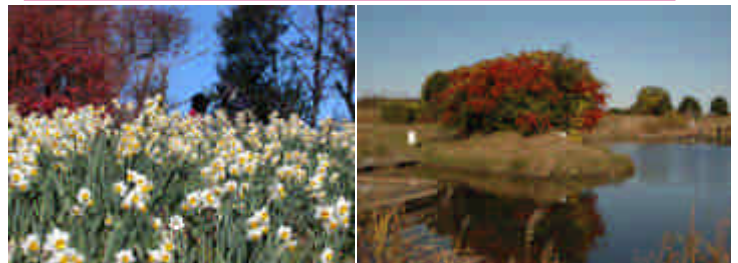
近藤地区では、平成8年度に転作組合をスタートし、集落全戸が参加する形で集団転作を継続しています。平成19年には、集落営農組織を法人化し近藤農事実践（株）を設立しました。

転作により栽培した大豆を材料にして、地元の味噌工場に委託して「とうみ味噌」を販売し、町の特産物としても位置付けられてきています。去年は「ゆうパック」商品として濁沼のシジミと「とうみ味噌」をセット販売し好評でした。黒大豆の栽培も始めており、地元中堅納豆業者で生産販売している「黒豆納豆」の原料として利用されています。

シジミを材料にして、新たな商品開発も検討しているほか、東京の消費者との交流PR事業にも取り組んでいます。

金山緑地公園と金山調節池

東京都清瀬市



清瀬金山緑地公園は市内で最も大きな都市公園で、四季を通じて多くの市民の方々の憩いの場として親しまれています。この公園のテーマは“武蔵野の風と光”で、園内全体にはケヤキ・クスノキなどの樹木や各種の野草が植えられ、武蔵野の雑木林が再現されています。また園内の小川の川底に樹木を焼いた炭を置いて水を浄化し、ホタルの養殖も行っております。1月頃には10万株を超える日本水仙が観賞できます。

金山緑地公園に隣接した金山調節池には、豊かな湧き水を利用した観察池などがあります。池の周囲にはコナラ・ソメイヨシノなどの樹木が植樹され、木々には様々な生き物が集まってきます。なかでも野鳥が多いことで知られ、観察される種は100種を超えます。冬季にはジョウビタキ、オオタカなどが観察されます。

清瀬市の大きな魅力である「水と緑」が存分に楽しめる場ですので、ぜひお越しください。

<http://www.city.kiyose.tokyo.jp>

わがまち自慢

全国で唯一のもの、自称日本一のもの、ぜひ知ってもらいたい活動や人など、地域からの自慢情報を紹介します。

「いばらきの地魚」ご存じですか？

茨城県



いばらきの地魚取扱い店

茨城県は全国有数の生産量を誇る水産県であり、ヒラメやスズキなどは「常磐もの」と呼ばれ、築地市場などにおいては高い評価を得ております。しかし、一般の皆様からは十分に認知されておらず、また入手手段も乏しい状況にありました。

そこで、茨城県では県内の港で水揚げされた魚介類、またはこれを主原料とし県内で加工された製品などを取り扱う店舗を「いばらきの地魚取扱い店」として認証し、本県水産物に対する理解の促進と消費拡大を図るとともに、県産の水産物全体のイメージアップに取り組んでいます。

今年で3年目となり、小売業、飲食業、宿泊業を合わせまして、現在約130店舗が認証店となっております。ホームページで店舗をご確認いただき、認証店を是非ご利用ください。

http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/gyosei/jizakana_top.html

日本一巨大丸ポスト完成！ 東京都小平市



小平市は、使用できる丸型ポストの数が31本あり、東京都内で最大の自治体です。市は「丸いポストのまちこだいら」というキャッチフレーズで地域資源としての活用を行っています。

丸いポストのまちにふさわしい日本一の丸ポストを作ろうと、日本一丸ポスト製作実行委員会を組織し、活動を始めました。

実行委員会は、市内の事業者や郵便局、商店街から組織されています。それぞれの事業者が技術を持ち寄り、手作りで製作を行い、また、郵便局や商店街は資金集めの募金活動を行うなど、市民が力をあわせて完成させました。

10月1日の除幕式の後、市へ寄贈され、今後は市が維持管理を行います（設置場所は、市民文化会館（ルネこだいら）前です）。

使用できる丸ポストとしては、日本一の大きさの巨大丸ポストを是非一度ご覧いただき、投函してみてください。

<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/oshirase/012/012995.html>

八王子やまゆり咲かせ隊 ～絶滅が危惧される市の花やまゆりの 栽培に成功！～ 東京都八王子市



絶滅の危機にある市の花「やまゆり」を守ろうと、市職員の有志がボランティア団体「八王子やまゆり咲かせ隊」を2005年に結成し、栽培したい市民約400人とともにやまゆりの栽培に取り組んでいます。

やまゆりは里山の環境を好み、花が咲くまでに5年もかかる、栽培が難しい植物ですが、市内に自生するやまゆりの種子を採取し、プランターに蒔き7万株の苗を大切に育て、5年目を迎えた今年7月、見事に開花させることができました。

今後も種蒔きを継続し、育てた球根を里山に戻していくほか、小中学校、福祉施設などの庭にも植え、身近な場所ではやまゆりが見られるようにもしていく予定です。やまゆりの花の香りがする「やまゆりの里八王子」の復活をめざしていきます。

<http://www.hachipo.com/group/cn18/pg165.html>

はたや記念館「ゆめおーれ勝山」 福井県勝山市



はたや記念館「ゆめおーれ勝山」は、明治38年（1905）から平成10年（1998）まで勝山の中堅機業場として操業していた建物を保存・活用したものです。

1階はまちなか案内機能を備え、勝山の魅力を紹介するゾーンです。手織り体験コーナーやカフェ、勝山の物産販売コーナーで勝山ならではの味や体験をお楽しみいただけます。

2階は「繊維のまち・勝山」を紹介するミュージアムゾーンです。歴史ギャラリーと収蔵コーナーでは「機屋」（はたや）の建物を活かした臨場感あふれる展示をご覧いただけます。

敷地内の「ゆめおーれ広場」では、小川に沿って憩いの空間が広がっています。

この建物は、勝山市指定文化財であり、平成19年には国の近代化産業遺産に認定されました。

<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya/>

和傘作りにチャレンジ！ 岐阜県岐阜市



日本一の生産を誇る、岐阜市加納の和傘。その伝統工芸の技を、岐阜和傘振興会の皆さんを講師に迎え、1人1本ずつ無地蛇の目傘を作りながら学ぶ講座です。

傘の骨をつないでいく「つなぎ」、紙をはる「はり」、飾りの糸をつける「かがり」の工程を、4日間かけておこないます。和傘産地ならではの講座に、皆さんも参加しませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/kouza2009.html>

大垣市の魚「ハリヨ」 岐阜県大垣市



湧水などのきれいな水にしか棲まないハリヨは、体長5cmほどのトゲウオ科の魚で、岐阜県西南濃地方と滋賀県北東部のみに分布する希少魚であり、環境省の絶滅危惧ⅠA類に選定されています。

形態的な特徴として、背びれの前に3本、腹びれに一对、尻びれに1本のとげがあり、繁殖期のオスは婚姻色が生じ腹側が朱色に染まり、体側は光沢のある青色になります。湧水などを水源とする流れの緩やかな水路などで、1年を通して水温が15℃前後の低水温で清澄な水を好み生息します。オスが子育てをすることでも知られ、大垣地域においては「はりんこ」の愛称で親しまれています。

大垣市では、良質で豊富な水環境を守っていくシンボルとして、平成20年10月に「市の魚」をハリヨに制定しました。

今後も、ハリヨが棲むことができる良好な環境を保全するとともに、持続的発展が可能な社会を創出するまちづくりを進めます。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000002716.html>

TAGA VILLAGE STATION 多賀「里の駅」 滋賀県多賀町



多賀クラブは多賀を愛するメンバーが元気の発信をしようと集まりました。神々の住む町、豊かな自然がいっぱいの町、おいしく安全な食材が育つ町、美しい水に恵まれた町、私たちはこんな多賀が大好きです。多賀の歴史や文化を学んだり、美味しいものを食したり、自然の中を歩いたり、それぞれの思いを伝えていく、そんなひと時をみなさんと月一回ですが過ごしたいと思います。ちょっとのそいでみるという軽い気持ちでお越しください。

多賀クラブ定例会は、毎月第一土曜日午前10時30分～正午、多賀そばの「そば打ち体験」は、毎月20日です。お待ちしております。

<http://www.taga-station.com>

四季彩々くみはまSANKAIKAN 京都府京丹後市



(有)日本穀物検定協会において2年連続特A評価を受けた「丹後産コシヒカリ」のふるさと、京丹後市。京丹後市は、北は海に面し他の3方を山に囲まれた自然豊かなまちです。

その地形や気候から、お米や果物の農産物のほかにカニや牡蠣など、多くのおいしい特産品があります。

そんな特産品を一堂に集めた「久美浜総合交流販売施設 くみはまSANKAIKAN」。本年リニューアルオープン5周年を迎え、毎月一度イベントを行うなど、ますます多くのお客さんで賑わうようになりました。なかでも、地元の農業者で組織するグループ（菜○野果倶楽部*注1）が行っている「菜○野果市」では、収穫された農水産物とその日のうちに店先に並び、新鮮さを求めて多くの方々が訪れます。

(*注1=「さわやかくらぶ」と読みます)。

<http://www.sankaikan.net/>

多くの梅の品種を集めた日本屈指の梅公園「世界の梅公園」 兵庫県たつの市



たつの市にある「世界の梅公園」は、梅の品種を多数集めている梅園です。園内には日本・中国・韓国・台湾の梅が合計約350品種、約1,350本が植栽されています。

また、主要建物は、梅文化発祥にちなんで全て本格的な中国建築物であり、異国情緒漂う雰囲気を楽しむことができます。

2月11日に開催される「みつ梅まつり」から観梅期が始まり、紅梅、濃いピンク、うすいピンク、1本の木に紅梅と白梅が咲く珍しい品種など、色々な花が来園者を楽しませてくれます。

虹の松原と再生・保全活動

佐賀県唐津市



日本の三大松原の一つ、虹の松原。延長5km、幅1kmの100万本の松のトンネル。松原に差し込む陽、穏やかな潮騒、爽やかな空気とすがすがしい松の香りが、心も体も解き放つ「癒し」をもたらしてくれます。松原の駐車場に停めて、森林浴や白い砂浜を散策するのがお奨めです。「白砂青松」の虹の松原は、日本一だと思っています。

しかし、この虹の松原が危ないのです。生活環境の変化から松葉かきが行われなくなり、松葉が積り土地が肥えてきました。砂地で栄養が少ない土地を好む松は、弱りだし、雑草や広葉樹が侵入してきています。

この大切な虹の松原を松の単層林とし、再生させ、守るために、国、県、市だけではなく地域が一体となって再生・保全活動を展開しています。

今では、多くの市民やボランティア団体が参加するアダプト制により、松原内の清掃活動や松葉掻きなどが実施されています。少しずつですが、日本一の白砂青松の松原が、蘇ってきています。

http://www.karatsucity.com/~kanne/pine_field/

白ワイン「菊鹿ナイトハーベスト」 アジア最優秀賞を受賞！ 熊本県山鹿市



「夜に収穫する日々に」

菊鹿

山鹿市菊鹿町で収穫されたブドウを使って作られた「菊鹿ナイトハーベスト2008」が、国際的なワインコンクール「ジャパン・ワイン・チャレンジ2009」で最高賞に輝きました。国産の白ワインが最高賞を受賞したのは初めてです。

コンクールは7月中旬に29ヶ国から1400点が出品されて行われました。

原料のブドウは、糖度が最も高くなる深夜に収穫します。今年も9月7日未明に地元の農園で農家とボランティアスタッフにより収穫が行われました。

今年は雨量が少なかったため糖度が高く、来年7月下旬ころに商品になるワインも美味しく出来そうだと評判です。

<http://www.kumamotowine.co.jp/event/jwc2009.html>

風光明媚の佐賀関半島めぐりと関あじ・関さば

大分県大分市



【写真の説明】

- ① 関あじ、関さばの刺身
- ② おもてなしの心の「佐賀関観光ボランティアガイド」の方々
- ③ 半島先端からの大パノラマ
(手前の建物は関崎海星館)

大分県大分市にある佐賀関半島は、豊後水道に突き出した風光明媚な半島で、日本の渚100選に選ばれた黒ヶ浜を始め、白ヶ浜など美しい海岸が続きます。

特に半島先端の関崎海星館や関崎灯台は、別府湾、国東半島、四国の島々などが眺望でき、大パノラマが開ける絶景の観光スポットです。また、名所、旧跡も多くあり、幕末に幕府の命を受けた勝海舟、坂本龍馬の一行が長崎に向かった際に宿泊した徳応寺を始め、神社、仏閣などもあります。

潮の流れが速い、豊後水道の高島周辺の「速吸の瀬戸」で獲れる「関あじ」「関さば」は「関もの」と呼ばれ身が引き締まり、脂が乗った格別の味が堪能できます。

観て、食べて、歩くほど楽しくなる佐賀関を、佐賀関観光ボランティアガイドがおもてなしの心で皆様を案内いたします。皆様のお越しをお待ちしております。

www.oishiimati-oita.jp/

伊計島

沖縄県うるま市



伊計島は、沖縄本島の中部の東側に位置し、青い空と碧い海に囲まれ、風光明媚な島です。

伊計大橋の隣の城から描きだした情景は、安らぎと安心感を醸しだします。島の人口は、約300人程度で、世帯は約150世帯ほどです。学校は小中学校で複式学級です。第一次産業が主で、農業は、葉たばこや砂糖キビ、イモ、パパイヤ栽培が主です。漁業は、もずくとウニが主となっており、自然の恵みが豊富な島です。島の学校には白い花が咲くデイゴの木があり、島に住みたくなるような素晴らしい環境です。みなさん、一度は伊計島観光に「めんそーり（いらっしゃいませ）」。

豊見城市ウーシ染め協同組合
沖縄県豊見城市



豊見城市の瀬長島は離発着する飛行機を間近で見ることができるポイントとして有名です。この島には「空の駅瀬長島物産センター」があり、そこでは市の特産品である「ウーシ染め」関連商品が販売されています。

沖縄県ではさとうきびのことを「ウーシ」と呼んでいます。これまでは黒糖づくりの原材料として利用されることが多かったウーシですが、葉と穂を煮出して作った染料で染めた製品が「ウーシ染め」です。

平成元年に地元商工会の村おこし事業の特産品開発からはじまり、平成6年にウーシ染め協同組合として結成し、今年で結成15年目を迎えます。地域の特産品として更なるステップアップを目指して活動しています。

<http://www.u-jizome.jp/>

わかまちの旨いもん

地域の特産物や名物料理（レシピ）の紹介など、「食」について紹介します。

伝統料理の食材を全国へ「埼玉くわい」
埼玉県越谷市



くわいをご存じですか？大きな芽があることから「めでたい野菜」として、正月のおせち料理に利用されます。埼玉県は生産量全国一のくわいの産地で越谷市、さいたま市、草加市で生産・出荷されています。

くわいは低湿地を好むことから、県南東部を流れる綾瀬川流域の湿田で、江戸時代中期以降に栽培が始まりました。機械化が難しいので、栽培の多くは手作業で行われます。収穫作業は、11月～12月の厳寒期に水の中から掘り上げる重労働ですが、品質の高いくわいが生産できることから、現在も栽培が続いています。

料理は「含め煮」等の煮物が一般的ですが、小玉のくわいは素揚げが手軽でおいしく、子ども達にも人気があります。越谷市ではくわいを使った発泡酒や和菓子なども商品化されています。

「玉ねぎドレッシング」で直売野菜を
おいしく召し上がれ 埼玉県宮代町



県東部の宮代町にある「新しい村」は、気軽に稲作体験や収穫体験が楽しめるアミューズメントパークです。エリア内にある農産物直売所「森の市場 結（ゆい）」で、今夏「玉ねぎドレッシング」を売り出しました。

直売所の目玉は、トマトやきゅうりなど宮代町産の新鮮野菜。この野菜を更に美味しく食べてもらいたいと開発した、地元産の玉ねぎ、にんにく、しょうが等を使ったオリジナルドレッシングです。玉ねぎの甘みとコクのある醤油味の和風ドレッシングは、サラダはもちろん、豚しゃぶや焼き肉にも美味しいと大好評です。

<http://www.atarasiimura.com/>

千葉ブランド水産物認定品 大原・太東産真蛸
千葉県いすみ市



三陸沖から南下してきたマダコは、エビ、カニ、貝類など豊富な餌に恵まれる九十九里浜から、いすみ市沖で栄養を蓄え、冬の旬の時期を迎えます。

いすみ市沖のたこつぼ漁は慶長年間から行われている伝統的な漁法で、一匹ずつ丁寧に漁獲されています。特に12月～1月に漁獲されたものは、柔らかく甘みがあり、味わい深い旨味をもち、市場関係者や料理人などプロの方々に高い評価をいただいております。

いすみ市内では、イベントや民宿等で、タコ飯の販売を行っておりますので、是非ご賞味ください。

問い合わせ先

夷隅東部漁業共同組合 Tel 0470-62-0111

成田産純米焼酎「成田舞」

千葉県成田市



JA成田市では、成田産コシヒカリ100%を使用した純米焼酎「成田舞」を作りました。通常の焼酎は、清酒を造る時の精米で出た白又力などを使用するのが一般的ですが、「成田舞」は一粒まるごと粉にして使用する為、米本来の旨さが活かされた、全国でも珍しい贅沢な純米焼酎です。地元生産者の米を使用する事で、安全・安心で美味しい商品を製造しておりますので、是非ご賞味頂ければと思います。

【小売価格】 720ml 1,380円

【問い合わせ先】 JA成田市加工販売課
(0476-36-1341)

<http://www.ja-narita.or.jp/>

福井の美味しいごはんのおともが本になりました！

福井県



コシヒカリを生んだ地、「コシヒカリのふるさと」福井県には、お米をおいしく食べるための知恵がたくさんあります。

そのようなことから、このたび、福井県のおいしいごはんのおともを紹介した「ふくいごはん」がポプラ社から発売されました。

「ふくいごはんを美味しく食べる」77品、「絶対取り寄せたい、極上の調味料」18品が掲載されています。

魚のぬか漬けである「へしこ」、鯖を竹串に刺しまるまる1本を焼き上げた「浜焼き鯖」などごはんがやみつきになる逸品を多数紹介しているほか、今注目を集めております「調味料」にもスポットを当て、福井県特産のらっきょを使ったタルタルソースなど一度使ってみたい福井独特の調味料も紹介しております。

全国の書店で販売しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.poplar.co.jp/shop/shosai.php?shoseiicode=80005800>

小浜の冬の味覚・若狭ふぐ

福井県小浜市



11月頃から旬を迎える若狭小浜・冬の味覚の代表格「若狭ふぐ」。環境の良い若狭湾で丹念に育てられたとらふぐは、身も引き締まり新鮮そのもの。

鋭い歯をもつアゴの部分はぶつ切りにして鍋物に、白身の部分は刺身などに用います。皮は表のトゲのたつているところだけ包丁でそぎ落として鍋物や酢のものに、また、ひれは良く乾かして火であぶってひれ酒にし、白子はてんぷらや雑炊にして味わいます。このように様々な調理方法で召し上がっていただける「若狭ふぐ」は、日々、地元の人々に丁寧に育てられています。

冬にはこれらを合わせた若狭ふぐのフルコースに人気が集まります。ぜひ一度お試しください！

<http://www.wakasa-obama.jp/>

大垣地域の特色を生かした「大垣いちおし製品」に3件を新規認定

岐阜県大垣市

大垣市では、市内で製造・提供される地域の特色を生かした製品等を「大垣いちおし製品」として認定し、情報発信しています。平成20年6月13日、新たに3件の製品を認定しました。

①木戸屋しょうゆ「心」シリーズ（木戸屋醸造株式会社）



杉桶を利用して醤油を仕込む伝統的な製造方法で、西濃地方の大豆を原料にし、一番重要な仕込み水に「大垣の地下水」を用いて醸造した醤油です。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000000247.html>

②水都大垣ものがたり、水都大垣小豆やっこ（御菓子司胡蝶庵）



大垣の地下水を使った自家製小豆つぶ餡と、地元豆腐店のおからを使用した焼菓子「水都大垣ものがたり」、自家製小豆こし餡を使った羊羹「水都大垣小豆やっこ」を開発しました。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000000311.html>

③名水わさび製品（名水わさび）



大垣のきれいな地下水を用いて栽培したワサビを原料に「わさび味噌」、「わさび漬け」、「わさびしょうゆ漬け」を開発しました。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000000312.html>

浜のかあちゃんの味！

室津の魚魚市弁当

兵庫県たつの市



室津漁港にある直売所「魚魚市(とといち)」で、「魚食」の普及に取り組んでいる室津漁業協同組合女性部の方々が、新鮮な食材と家庭の味を活かして、海の幸たっぷり・ボリューム

たっぷり地元づくしのお弁当作りをしています。

四季折々に水揚げされる旬の魚や地元産にこだわったお米や旬の野菜を、漁師ならではの料理方法で味付けしたお弁当です(要予約)。

歴史文化のある町並みや活気あふれる漁村生活とふれあい、室津の浜のかあちゃんの味を是非ご賞味ください。

新パッケージ登場 衣奈そだち

和歌山県日高郡由良町



由良町は、あまり知られていませんが、和歌山県内でのワカメ収穫量第1位であり、また、その味は、ワカメの本場である徳島県鳴門ワカメにも引けをとりません。

そんなおいしいワカメの軸を使って、紀州日高漁業協同組合衣奈浦支所では、3種類の味で楽しめるワカメの佃煮「衣奈そだち」を販売しています。今年5月に、それまでの瓶詰めから、真空パック包装に変え、パッケージも新しくなり、大変好評です。

ワカメは、低カロリーなダイエット食品としても知られ、高血圧や動脈硬化予防にも効果的な健康食品です。衣奈ワカメを、ぜひ一度ご賞味ください。

<http://jf-kishuhidaka.or.jp/shopping.html>

幻の酒「雉酒」発売！！

愛媛県鬼北町



「日本一の雉のまち」を目指す鬼北町で、古より祝い事に飲まれてきた雉酒が発売されました。平安時代から飲まれていたとされる雉酒は雉のささ身を薄く削ぎ、微量の塩をまぶしてから炭火で炙り、爛酒にジュッとつけ、5～6分じっと待ち、軽やかきませってから飲みます。雉肉の加工販売を行う

「鬼北きじ工房」では熟成された雉肉から特殊な技法でエキスを抽出し、愛媛県四国中央市にある梅錦山川(榊)の銘酒と調合して雉酒「鬼北雉」を完成しました。この「鬼北雉」には豊富なアミノ酸が含まれ二日酔いになりにくいとか？全国の皆さん、「鬼北雉」のまろやかな味をどうぞ一献、ご賞味あれ。

【希望販売小売価格】180ml 1本780円

300ml 1本1,150円

【お問合せ先】鬼北きじ工房 0895-48-0071

<http://www.kihoku-kiji.com/>

荒尾を代表するスイーツセット 「荒尾かぶれ」ができました from 創作菓子荒尾一心会

熊本県荒尾市



荒尾市が進める、市民、民間団体、行政の協働のまちづくりプロジェクトの一環として、荒尾を代表するお土産をつくるため、地元の和・洋菓子職人5人の有志が創作菓子荒尾一心会を立ち上げました。職人5人それぞれの創意・工夫により、試行錯誤の末、荒尾の特産品である梨などを使ったスイーツセット「荒尾かぶれ」が誕生しました。

“かぶれ”とは、常識やしきたりを打ち破る破天荒な行いなどの意味のかぶく（傾く）から引用し、常識にとられない新たな活動を行う心意気を表していて、その名のとおり、今後も地元のを活かした新商品の開発に積極的に取り組んでいきます。

「荒尾かぶれ」には、梨を使った銘菓のほか、世界遺産登録を目指す万田坑にちなんだ石炭クッキーなどの創作菓子が詰め合わせで入っています。

今のところ、「荒尾かぶれ」は荒尾市観光物産館でのみ販売しています。荒尾にお立ち寄りの際にはどうぞ、お土産にこの「荒尾かぶれ」をお一ついかがでしょうか。
※荒尾市観光物産館

TEL：0968（66）0939 所在地：荒尾市緑ヶ丘
1-1-2

ふるさとの味 佐伯「ごまだし」

大分県佐伯市



「佐伯の殿様、浦でもつ」と言われた大分県佐伯市には、漁師町に古くから伝わる郷土料理「ごまだし」があります。

エソ・アジなどの魚を焼いた後、丁寧に皮と骨を身から外し、すり鉢等ですった中に、煎った胡

麻、しょうゆ、みりんなどを加えます。

小骨を取り除きながらさらに丹念にすっていきペースト状になれば「ごまだし」の出来上がり。

ゆでうどんに「ごまだし」と薬味をのせ、お湯をかけていただく「ごまだしうどん」が一般的な食べ方ですが、万能調味料として何にでも使っていただけます。冷やっこや野菜の和え物、これからの季節にはお茶漬けなどもおすすめです。

新鮮な魚の香りと旨みが口の中に響き、胡麻の風味が漂う、愛情たっぷりのおふくろの味です。ぜひ味わってください。

なお、「ごまだしうどん」は、農林水産省の郷土料理百選に選定されています。

<http://www.saiki-gomadashi.com/>

私達、輝いています

地域で活躍している女性（グループ）の取組を紹介します。

地元発祥の伝統食を自分たちで

「こびき家」 和歌山県日高郡由良町



由良町にある興国寺は、法燈国師が中国から伝えたという金山寺みそ、しょう油の発祥地として知られています。その地元発祥の金山寺みそを、地元の食材で昔ながらの手作りで提供しているのが「こびき家」です。

こびき家は、由良町の主婦4人で構成された味噌作りグループで、麴から手作りし、地元の米を使用、更に保存料等の余計な添加物は、一切加えない製法にこだわりつつけています。大量生産はできませんが、食の安全が叫ばれる今こそ、手間を惜みず、食べる人のことを考えるこびき家の味噌を味わってほしいと思います。

唐津環境防災推進機構KANNE

事務局長 藤田 和歌子 佐賀県唐津市



「幼いころ自然の中で遊びたいとは思っていても、危ないから一人で遊びにいけないと言われていた。しかし、自然との付き合い方を知っていたら、自然と仲良くなれるのに。」

こんな思いから、KANNEの事務局員として、活動を始めました。

NPOといっても財政的に裕福ではありません。人と人のつながりの大切さ、一人の思いだけでは達成できないことを、たくさんの仲間がいるから成し遂げることができる、ということを感じて頑張っています。

子どもたちに地球のことを好きになってもらう、気づきかけづくりのお手伝いをするために、虹の松原再生・保全活動、エコイスト養成講座、エコキャンドルづくりなど工夫を凝らした活動を精力的に展開しています。

子どもたちが自然や地球環境に関心を持ち、「何かしたい」「これならできると」を見つけ、地球環境にやさしい生活が送れる人へ成長してくれることを願って、これからもいろんな事業をしかけていきたいと張り切っています。

<http://www.karatsucity.com/~kanne/>

交流・連携通信

都市農村交流や交流相手の募集など地域間交流活動を紹介します。

烏帽子岳（えぼしだけ）林間広場を活用した交流活動 岐阜県大垣市



大垣市上石津町の烏帽子岳（標高865m）は、岐阜、三重、滋賀県境にそびえ立ち、雄大な山容から「美濃富士」とも呼ばれています。

その烏帽子岳の新たな登山道が、市民のまちづくり活動の一環として、「大垣山岳協会」と地域住民の「時まちづくり実行委員会」の共同作業で3年がかりで整備されました。

本市では、新登山道の整備に合わせ、都市と山村地域との交流を促進するため、登山道の案内看板やトイレ等を設置した烏帽子岳林間広場を平成20年度に整備しました。

平成21年5月には、新登山道と烏帽子岳林間広場の開設記念式典と合わせて市民登山大会が開催され、多くの市民が参加しました。参加者には、郷土料理である「ししなべ」がふるまわれ、山間地域における新たな交流拠点の完成を祝いました。

林間広場から約2.7kmの登山道を、2時間程度で烏帽子岳山頂へ登ることができます。林間広場には、多くの登山愛好家が訪れるほか、森林体験の場として賑わっています。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000003706.html>

水源の里「古屋」へようこそ

京都府綾部市

綾部市街地から東へ約30キロ離れたところに位置する、5世帯7名の小さな集落「古屋」には、集落から徒歩15分～30分程度の場所にトチの木の群生林があり、集落を活性化し維持していく起爆剤とするため「栃の実」を使った「栃おかき」づくりに励んでいます。

そのような古屋の方達を応援しているのは、都会から来てくれるボランティアの方々に、鹿から栃の実を守るためのネット柵張りや、栃の実拾い作業、雪かき、倒木撤去等の作業を集落の方と共に行っています。また、都会の子供達や大学生が大自然と触れ合う活動も行っており、古屋は都会では体験することの出来ない環境教育の場にもなっています。

今後「栃おかき」が商品化され、より多くの方に古屋を知ってもらうことで、交流の輪が大きく広がっていくことを願っています。皆様も一度大自然が広がる「古屋の栃の森」へいらしてください。元気な7名がお待ちしております。

<http://suijen.ayabe-teijyu.org/>

Let's 農業

地域で新たに就農された方の体験談や、農作業体験などの活動内容・参加者募集を紹介します。

道の駅の農業公園で農業体験が大好評 埼玉県杉戸町



県東部の杉戸町にある「アグリパークゆめすぎと」は、県内外から毎年180万人が訪れる道の駅と農業公園の複合施設です。園内は本館（農産物直売所・食堂・加工所）、公園ゾーン、農業ゾーンに分かれていて、道の駅ならではの大型駐車場も備えています。

このうち農業ゾーンには、区画を貸し出す市民農園と、農業体験のできるカントリー農園があり、特に近年カントリー農園の人気が高まり、県内外の学校や各種団体が日帰り体験に訪れるようになりました。自然とふれあいながら、季節の農産物の収穫体験ができることと、都心から40km圏内と交通の便が良いことが魅力となっています。

特に田植え・稲刈り体験の希望が増えているため、埼玉県の彩の国グリーン・ツーリズム総合対策事業を活用して園外の水田にも農園を広げるなど、受入れを増やす計画です。これからも多くの方に農作業を楽しんでもらいたいと頑張っています。

<http://www.pikaru.co.jp/gaiyou2.html>

アンテナショップ

地域の農産物が身近に購入できるアンテナショップやテナントを紹介します。

「農産物直売所たいせつ」オープン！ 北海道旭川市



平成21年9月に旭川市の中心部から北へ車で約10キロの国道40号線沿いにオープンしました。

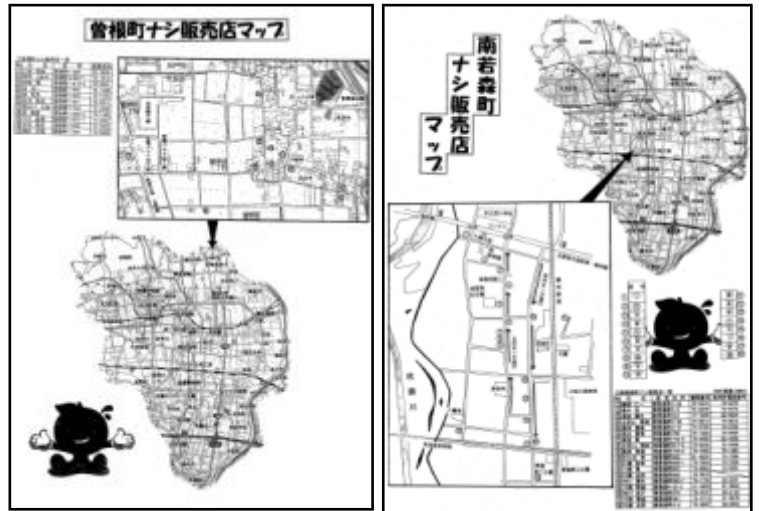
JAたいせつ女性部などが中心となって、運営方針や販売計画を立てて、他にはない特色のある地域の直売所づくりを目指し、現在のところ30件の農家と契約して、新鮮でおいしい農産物や農産加工品などを販売しており、今後はさらに仕入れ先の農家を増やして商品を充実させていく予定です。

JAたいせつでは、2006年から消費者に様々な視点

から興味・関心を持ってもらえるように、青年部が中心となって田んぼに絵を表現する「田んぼアート」を作成しており、直売所を田んぼアートと連携させて、消費者や地域に親しまれる「直売ショップ」としての位置づけを図り、地域情報発信の場として展開していきます。

ナシ販売店マップ

岐阜県大垣市



甘くてみずみずしい梨が、大垣市の特産品として市内の2地区において約20ヘクタール栽培されています。

市内には、梨農家が直営する直売所が29軒あり、農家が1年をかけて大切に育てた梨を、その日のうちにもぎ採り販売しています。

市は特産品である梨の産地を盛り上げる目的で「ナシ販売店マップ」を作成しました。

近年、安全・安心な農作物に対する消費者のニーズは高く、生産者の顔が見える直売所の情報は、消費者からもとても喜ばれています。

また生産者である農家の方々にも大きな励みとなり、地産地消の推進に一役買うことができました。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000004902.html>

道の駅「にしお岡ノ山」開駅 愛知県西尾市



平成21年11月にオープンした道の駅にしお岡ノ山は、六万石城下町「西尾」をコンセプトに造られた愛知県内13番目の道の駅で国道23号岡崎バイパスに位置します。

施設のメインとなるのは、地元で採れた新鮮な野菜や西尾の抹茶をはじめとした地域の特産物を販売する地元農林水産物販売施設です。また、売店や西尾特産の抹茶を使った抹茶そばや一色産うなぎ、三河豚、地元の野菜を使った食事を提供する食堂のほか、道路情報提供施設やトイレ、大型駐車場も設置されており、道の駅にしお岡ノ山は、地産地消、地域・観光情報の発信の拠点として皆様をお迎えします。高さ20mの風力発電装置「風の塔」が目印です。ぜひ、お立ち寄りください。

http://www.cbr.mlit.go.jp/michinoeki/fl_a_13.html

笠岡諸島の島おこしNPO 「NPO法人かさおか島づくり海社」 岡山県笠岡市



笠岡諸島の地域課題に住民が果敢に取り組んでいくために組織されたNPO法人で、過疎地有償運送、通所介護事業所、就学前児童育成事業、空き家対策事業などを行いながら、笠岡諸島の特産品開発にも力を入れてきました。

今までの活動で様々な笠岡諸島の特産品が生まれ、お問い合わせやご購入希望がありましたが、陸地側で拠点を持っていなかったため、十分答えることができませんでした。一方で、売る場がないため島の住民も製造を見合わせるなど悪循環がありました。また、島の情報やまちづくり活動をPRするための場所も必要であり、平成19年に笠岡駅前の空き店舗を改装して笠岡諸島のアンテナショップ「ゆめ ポート」を開店しました。

笠岡諸島6島それぞれの特徴的な特産品（味付けのり、ひじき、ゴーヤ関連商品、石の加工品、甘夏ちゃん、ぶんすなど）を中心に、他の地域の島とも連絡を取り合いながら、商品を仕入れ販売しています。

<http://www.shimazukuri.gr.jp/>

わがまちのユニーク施策

市町村において独自に取り組んでいる施策を紹介し
ます（地域おこしなどジャンルは問いません）。

南房総なめろうプロジェクト始動！ 千葉県南房総市



南房総市観光プロモーション協議会では、南房総を代表する食文化「なめろう」「さんが焼き」にテーマを絞った地域ぐるみでの食の新プロジェクトを始動させました。

漁師町ならではの食文化が食卓から徐々に消えつつあるなか、同協議会が地域の海女さんや漁業従事者、商工会、飲食店の方々と協議した結果、地域固有の食文化を守り育て、集客にもつなげていこうと動き出したところです。

漁師メシのラインナップを強化しようと、地野菜と組み合わせた洋食テイストの料理開発「なめろうでイタリアン」と銘打った料理教室や、グルメプロガーに漁師メシを試食していただくモニターツアーを実施、今後は「南房総なめろう研究会」を発足して、地域主導の料理開発や食のイベントを仕掛けていく準備を進めています。

「なめろう」「さんが焼き」だけでも、アジやトビウオ、ムツ、イカなど、南房総近海で水揚げされる新鮮な魚種を使ったバリエーション豊富な料理です。このような魅力ある「食」の資源を、地域一丸となって情報発信していきたいと思えます。今後の南房総の「食プロジェクト」にご注目ください。

<http://www.mbosso-etoko.jp/>

官から民へ「梅ワイン事業」を移行 東京都東久留米市



東京都東久留米市特産の梅の実（白加賀）を100%使った梅ワイン「東久留米からの梅便り “梅うふふ”」。地元ブランド作りの一つとして行政主導による、東久留米酒販組合、企業者、農業者の連携・協力のもとに平成18年9月に開発・販売されてから今秋で4年目を迎えました。売れ行きが好調なため、市は今秋、製造販売の運営母体を東久留米酒販組合に移し、その事業移行式を挙行了しました。官から民へのスムーズな事業移行は全国的にもまれなケースといわれています。

同組合は、この移行を契機に、事業移行式の当日である9(くるめ)月1(いい)8(ワイン)日を、「梅ワイン解禁日」と定め、PR用ラジオCMも自主作成するなど意気込んでいる。

市は、今後も地元ブランド「東久留米からの梅便り “梅うふふ”」を成功例に他機関との連携・協力によりさらなる地元ブランド作りに取り組みます。

<http://www.city.higashikurume.lg.jp>

食と農のポータルサイト 「おいしい茅ヶ崎」 神奈川県茅ヶ崎市



「農業ポータルサイト事業」は、市民提案型協働推進事業のひとつとして茅ヶ崎市とNPO法人湘南スタイルが進めています。

茅ヶ崎市が持つ農業に関する情報と、湘南スタイルが持つポータルサイト制作のノウハウや取材力を組み合わせることで、より充実した情報を提供することが可能になりました。

「おいしい茅ヶ崎」の概要は、地産地消をコンセプトとし、茅ヶ崎の農業を身近に感じていただくというものです。地産地消とは何か、地産地消の良さは何か、そしてそれらを踏まえた上で、市民が今日から出来る地産地消を「茅ヶ崎の農業を知る・買う・携わる」という3つの観点から情報を提供します。

平成21年度は、PCサイトに加え、モバイルサイトも開設し、今後は、農家・援農者・消費者・レストランなどを結ぶ新しいシステムを構築し、新たなまちおこしの仕組み作りを目指していきます。

<http://oishi-chigasaki.com/>

安心・安全な農産物を目指して ～元気たてやま認証農産品～

富山県立山町



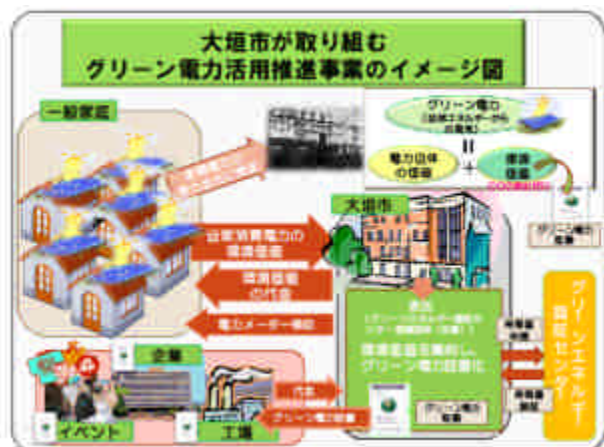
立山町では、平成15年度に、「地元で採れた、より安全で安心な食材を消費者の皆さんに届けたい!」という思いから、生産者や町、農協、県が協力して立山町直売農産物認証制度を立ち上げました。

平成21年10月6日には、当初の認証から5年を経て、制度見直し後初の認証式を執り行ったところです。さて、この制度は、堆肥の施用や、減化学肥料、減農薬といった生産方式が適性であることを認証するもので、生産者から提出された野菜・果樹・花卉ごとの栽培計画を基に、農業分野の専門家で構成する立山町農業技術者協議会がほ場確認等の審査を行っています。基準をクリアし認証を受けた農産物は「元気たてやま認証農産品」のシールを貼って販売することができると共に、学校給食への食材提供が可能となります。今後とも、消費者に安心感を与え、直売所を活性化させるような認証制度の運用に努めていきたいと考えています。

<http://www.town.tateyama.toyama.jp/>

大垣市グリーン電力活用推進事業による エネルギーの地産地消

岐阜県大垣市



エネルギー自給率の低い日本にとって、太陽光や風力などの自然エネルギーを活用した発電はとても重要です。

太陽光で発電された電力は、二酸化炭素を排出しないなど地球温暖化防止に貢献する「環境価値」があり、この環境価値を証書として取引できるようにしたのがグリーン電力証書で、地域で流通させることが可能です。

このため大垣市では、住宅用太陽光発電システムの普及とグリーン電力証書の活用を進める「グリーン電力活用推進事業」に取り組んでいます。

この事業では、市内の住宅用太陽光発電設備で発電された電力のうち、自家消費された電力の環境価値を市が3年間買い取り（20円/kWh、上限2,000kWh/年）、買い取った環境価値をグリーン電力証書化して、企業などに購入してもらいます。

市が買い取った環境価値の代金が一般家庭の設備設置者に還元されることにより、太陽光発電の一層の普及に役立てられるとともに、グリーン電力証書を購入した企業では、エネルギーのグリーンコンシューマーとして地域の太陽光発電の普及に貢献してもらいます。

この事業の実施を通して、市民、企業、行政が連携したエネルギーの地産地消を推進し、環境保全の輪を広げていきます。

<http://pvgreen.okunohosomichi.net/>

砂浜美術館 Tシャツアート展示 ～モンゴルでひらひら～ 高知県黒潮町

毎年ゴールデンウィーク期間中、高知県黒潮町入野海岸の砂浜で行われるTシャツアート展（NPO砂浜美術館主催）は、全国から出展されたイラストや写真をプリントした1000枚を超えるTシャツを、まるで洗濯物を干すかのごとく、真っ白な砂浜にひらひらさせるイベントで、今年で21回目を迎え、日本各地への広がりを見せています。

今年8月には、モンゴルの首都ウランバートルの市街地でのTシャツアート展を実現しました。JICA（国際協力機構）青年海外協力隊としてモンゴルの子供達に絵を教えている西村優美さんが、帰国中にボランティアスタッフとしてTシャツアート展に参加した際に「このすばらしい風景をモンゴルの子供達たちに見せてあげたい」という思いを持ったことがきっかけでした。今回モンゴルでのTシャツアート展を実現させた西村さんとNPO砂浜美術館は、来年こそは、モンゴルに大きく広がる緑色の草原での、Tシャツアート展開催と意気込んでいます。

「私たちの町には美術館がありません、美しい砂浜が美術館です」をコンセプトに、黒潮町では、入野松原をバックに広がる真っ白な砂浜を美術館と見立て、そこに存在する自然や生きものそのものすべてが、貴重な作品であるという砂浜美術館構想を全国に発信しています。

<http://www.sunabi.com/>

棚田 & 彼岸花で都市農村交流！ 福岡県川崎町



シルバーウィークの9月19日、20日の2日間、川崎町安宅（あたか）地区で「棚田彼岸花まつり」が開催されました。このイベントは地元の皆さんでつくる「以心田心川崎地域力活性化協議会」が中心となり、安宅の彼岸花の美しさと素晴らしい自然を満喫してもらおうと企画されました。

まつり期間中は福岡県内のほか関西ナンバーの車も見られ、1500人あまりの見物客が訪れ、カメラを片手に彼岸花を觀賞したり、ウォーキングを楽しんだりしていました。また、メイン会場の安宅ふれあいセンターでは、新米おにぎりやだご汁、採れたて野菜などが販売され、あっという間に完売しました。訪れた人からは「彼岸花の美しさ感動した」「地元の方がとても親切だった」「毎年開催してほしい」などうれしい声が多く聞かれました。

主催者の皆さんからは「地域がひとつになって、イベントをやり遂げることができた事が何よりの収穫。来年以降もよりよいイベントにしていきます。」と、頼もしいコメントをいただきました。

「蕨野の棚田」保全・活用事業 佐賀県唐津市



「蕨野の棚田」は、八幡岳の山麓に広がる1,050枚の棚田です。春の菜の花、夏の早苗、秋の稲穂、冬の雪と四季折々の彩りが素晴らしく、農水省の「棚田百選」にも選ばれています。

これまで、生産者が営農のために石垣の修繕などを行ない、その結果として、景観が維持されてきました。しかし、高齢化、人口減少により農業従事者が減少し、棚田を守っていくことが難しくなってきました。

そこで地元住民、佐賀大学、唐津市とが協働して、石積み修復や風景に調和した土地管理などの保存計画をまとめ、平成20年に、国の重要文化的景観に指定されました。

このような活動を契機に、佐賀大学や食育を推進するNPO法人などとの連携で、市内や県外の住民の農業体験などを進めるほか、荒廃地の手入れや花木の植栽、観光ガイドの育成事業など、消費者と生産者の交流事業を行っています。

また、減農薬、減化学肥料によって生産された「棚田米蕨野」のブランド化にも取り組んでいます。

<http://ouchi.fhl.ne.jp/top.html>

イベント情報

平成22年1～3月に全国各地で開催が予定されているさまざまなイベントを紹介します。記事を読んで興味を持たれた方は、ぜひ一度現地を訪れてみませんか。

龍泉洞みずまつり 岩手県岩泉町



小正月に「ミズキ団子」を水神に供え、五穀豊穡を祈ってきました。水と水を育む森林を大切にすることを「みずまつり」を通じて子孫に伝えていきます。

寒中、龍泉洞の水で身を清めた男たちが御水を搬送し、みこが舞い、子どもたちがミズキ行列をします。

また、秋田県田沢湖町から「辰子龍」が訪れ、岩泉町の「龍ちゃん」との『双龍の出会い』で、祭りは最高潮に達します。

同時イベントで、「龍泉洞みず祓い体験ツアー」も行われます。内容は、参加者希望者が、地底湖から湧き出る水を被り禊ぎを行い、岩泉大神宮の神職により御祓いを受け新たな年を迎え、最良の年であることを祈願するものであります。

<http://iwaizumikankokuyokai.web.fc2.com/>

- 開催日時：平成22年1月10日(日) 14:00～
- 開催場所：龍泉洞～うれいら通り商店街
- 問合せ先：岩泉町観光協会

TEL：0194-22-4755

八幡平ゆきまつり

岩手県八幡平市



自然豊かな八幡平エリアを雪と触れ合いながら楽しんでもらおうと八幡平ゆきまつりを開催します。ゆきまつりは「雪と親しむ」をテーマに、八幡平温泉郷会場と岩手山焼走り会場の2カ所で行われます。

会場では、地元の有志が工夫を凝らして作成したかわいらしい雪像や巨大滑り台が皆さんをお出迎えをします。親子一緒にソリや雪像で雪遊びを満喫した後は、無料で振舞う地元特産のホロホロ鳥汁で心も体も温め、冬の八幡平を五感でお楽しみください。

イベント会場では雪上運動会や雪上トレッキング、雪上スライダーなどの体験イベントのほか、雪灯りが照らす幻想的な世界の中で打ち上げる花火大会など多彩に行われますので、たくさんのご来場をお待ちしています。

<http://www.hachimantai.or.jp/>

- 開催日時：平成22年2月中旬
- 開催場所：八幡平温泉郷、岩手山焼走り国際交流村
- 問合せ先：社団法人八幡平市観光協会

TEL：0195-78-3500

「女川のまつり」冬のまつり
宮城県女川町



「女川のまつり」冬のまつり、テーマは牡蠣。当日は、牡蠣剥きの体験ができるコーナーをはじめ、採れたて新鮮な牡蠣を使い、牡蠣の炭火焼や牡蠣汁を無料で試食していただくコーナーなどを用意しております。また、剥いた牡蠣の数を競う「めざせ！かきむき王 かきむき選手権」など多彩なイベントが盛り沢山！

<http://www.marinepal.com>

- 開催日時：平成22年1月31日(日)
- 開催場所：マリナル女川お祭り広場
- 問合せ先：TEL:0225-53-4033

おんじゅくまちかどつるし雛めぐり
千葉県



おんじゅくまちかどつるし雛めぐりは、今年で4回目を迎え、桃の節句には珍しいといわれる青い布で美しい海を表現する「おんじゅくブルー」のつるし雛やあわびやサザエの貝殻に小さな手作り人形を乗せたあわび雛やサザエ雛などもご覧いただけます。メイン会場2階の天井から飾られる長さ3mの30本のつるし雛は圧巻です。また、一般客向けのつるし雛手作り教室（予約不要）やあわび雛、サザエ雛の販売もあります。

<http://www.onjuku.or.jp/index.html>

- 開催日時：平成22年2月18日(木)～3月3日(水)
- 開催場所：町内協賛店舗
メイン会場：(株)ハナフジ
- 問合せ先：御宿町商店振興会
TEL：0470-68-2818

菅原大神 春の例祭 千葉県銚子市



学問の神様菅原道真公を祀る菅原大神。別名子宝神社と呼ばれています。この社に奉納されている「子宝石」をおなかに抱いて祈ると、子宝に恵まれると伝えられています。昭和60年に放送されたNHK朝の連続ドラマ小説「濡つくし」の中で、沢口靖子さん演じるヒロインが、この石を抱くシーンで登場して以来、全国から脚光を浴びるようになりました。

子宝石を抱くことのできる春と秋の年2回の例祭には、大勢のご夫妻が授子祈願やお礼参りに訪れます。

- 開催日時：平成22年2月25日(木) 11:00～
※午前8時受付開始
- 開催場所：菅原大神（銚子市桜井町60）
- 問合せ先：TEL：0478-86-4405（東大社）

新春七草がゆの集い 東京都板橋区

「板橋ふれあい農園会」会員により、日頃の感謝を込めて、正月の伝統行事を楽しんでいただこうと、春の七草に区内産の野菜を加えて作る「板橋ふれあい農園会オリジナル七草がゆ」を先着1,000名に試食していただきます。また、豊作を願って飾られる「繭玉飾り」の展示や、羽根つき、独楽まわし等の正月遊びの体験コーナー、区内産の野菜や漬物などの即売コーナーを設ける予定です。

<http://www.city.itabashi.tokyo.jp/shisho>

- 開催日時：平成22年1月7日(木) 11:30～
- 開催場所：板橋区立城北公園(野球場)
※板橋区坂下2-19-1
- 問合せ先：板橋区赤塚支所 都市農業係
TEL：03-3938-5114

第6回チェロを愛する若きチェリストによる交流コンサート

東京都八王子市



「若きチェリストによる交流コンサート」は、技術や経験を超えて、25歳までのチェロを愛する若者が音楽を通じて交流を図るあたたかいコンサートです。

若きチェリストがソロやアンサンブルなどで演奏します。演奏者はもちろん、会場にいる観客の皆様もチェロを通じた交流を楽しんでください。

http://www.cassado.sakura.ne.jp/related/youngcello/y_index.html

- 開催日時：平成22年3月28日（日）
- 開催場所：芸術文化会館（いちようホール）小ホール
- 問合せ先：ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会
TEL:042-631-0705

伝統文化ふれあい事業 伝統芸能体験・発表講座受講生による合同発表会

東京都八王子市



伝統文化ふれあい事業では、八王子の豊かな伝統文化・芸能をまちなかで気軽に見て、きいて、ふれることで、あらためて八王子の良さを知り、八王子の魅力を発見できるよう、八王子車人形・説経節・篠笛・獅子舞などの講座を開催しています。

八王子車人形・説経節・篠笛講座は、舞台発表を目標にしており、受講生は半年近く練習を重ね、発表会に向けてがんばっております。ぜひ御覧下さい。

<http://www.hachiojibunka.or.jp/tradition/index.htm>

- 開催日時：平成22年2月14日（日）
- 開催場所：学園都市センター イベントホール
- 問合せ先：伝統文化ふれあい事業実行委員会事務局
〔(財)学園都市文化ふれあい財団〕
TEL:042-621-3005

第59回関東東海花の展覧会

神奈川県



関東東海花の展覧会は、花に対する理解と消費の啓発を図り、花き産業の健全な発展に寄与することを目的として開催され、関東・東海の1都11県と花き関係の6団体が主催する、国内最大規模の歴史ある花の展覧会です。

見どころは、各都県の生産者が育てた切花や鉢物の品評会、フラワーデザイナーとお花屋さんによるフラワーデザインコンテスト他、様々な花の装飾展示です。

また、会場では園芸教室、花育教室、最終日の午後からは即売会が行われます。会場は色とりどりの美しい花でいっぱいです。

一足早い春を満喫してください。

- 開催日時：平成22年1月22日(金)～24日（日）
- 開催場所：池袋サンシャインシティ
文化会館2階展示ホールD
- 問合せ先：第59回関東東海花の展覧会事務局
(神奈川県農業振興課)
TEL:045-210-4426

県民参加の森林づくり

神奈川県

(財) かながわトラストみどり財団は、今年度より従来(社) かながわ森林づくり公社が実施してきた「県民参加による森林づくり事業」を受け入れ、まちのみどりから山のみどりに至る広範囲なみどりを対象に、みどりを守り育てる運動を一体的に展開し活動してきました。県民の皆様が森林づくり活動にご参加いただくため、「県民参加の森林づくり」を開催しますので、ふるってご参加ください。

<http://www.ktm.or.jp>

- 開催日時：①平成22年1月23日(土)
予備日1月24日(日)
- ②平成22年2月7日(日)
予備日2月13日(土)
- 開催場所：①山北町岸(丸山)
②大磯町国府本郷(大磯運動公園)
- 問合せ先：(財) かながわトラストみどり財団みどり森林課
TEL:045-412-2255

献灯祭

新潟県三条市



正月14日夜から15日朝にかけて行われる八幡宮恒例の献灯祭は、江戸時代から行われてきた三条の冬の風物詩です。氏子から献納される巨大な御神灯(直径50cm、高さ1m、重さ30kg~50kg)の数々は、市民の繁栄と幸福な前途を照らす灯明として広く信仰を集めています。

<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>

- 開催日時：平成22年1月14日(木)夜~
15日(金)朝
- 開催場所：八幡宮
- 問合せ先：三条市営業戦略室
TEL:0256-34-5511(内線418)

本成寺節分鬼踊り

新潟県三条市



法華宗総本山本成寺の節分会の一大行事として行われる鬼踊りは、室町時代本成寺の僧兵と農民が力を合わせて盗賊を追い払ったという古事にならい、悪魔祓いの形で節分の豆まき行事として続けられています。

本成寺本堂の厳粛な空気の中に響きわたる鬼たちの叫び声と鋸・斧などの金物を持ち大暴れするその姿は迫力満点。最後は鬼に豆を投げつけて退散させ、平和と安全を祈ります。

<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>

- 開催日時：平成22年2月3日(水)
- 開催場所：法華宗総本山本成寺
- 問合せ先：TEL:0256-32-0008

町屋の人形さま巡り

新潟県村上市



城下町ならではの町屋造りが残る村上。この「町屋」の一般公開をきっかけに村上独自の催しが始まりました。その中の一つが、先祖伝来の雛人形などを昔ながらの町屋に飾り、訪れた人々を招き入れる「町屋の人形さま巡り」です。近年では約70軒余りが参加する大きなイベントとなりました。歴史ある町屋の造りと人形たちの一体感が、何とも言えず懐かしく、町衆たちとの会話も自然と楽しく弾みます。

<http://www.mu-cci.or.jp/kanko/>

- 開催日時：平成22年3月1日（月）～4月3日（土）
- 開催場所：村上市旧町人町一帯
- 問合せ先：村上市観光協会
TEL:0254-53-2258

スノーマンがやってきた！ 新潟県村上市（山北地区）



新潟県最北端にある村上市山北地区は、冬季の積雪が多く、この雪を活用し地域の元気づくりにつなげたいと、地域の若者で組織するグループ「夢21・さんぽく塾」が平成8年から始めたイベントで14回目を迎えます。

雪原に参加者各々が雪だるまを作り、夕方おなかにろうそくで明かりを灯します。この幻想的な会場で1組限定の雪上結婚式も行われイベントは最高潮を迎えます。また、会場周辺住民の協力により民家軒先や集落の通りにたくさんの雪だるまが並び、訪れる人々を出迎えます。

- 開催日時：平成22年2月14日（日）
- 開催場所：村上市大毎地内（山北地区）
- 問合せ先：夢21・さんぽく塾事務局
（村上市山北支所地域振興課）
TEL：0254-77-3111

レルヒ祭 —日本スキー発祥99周年— 新潟県上越市



日本に初めてスキー術を伝えたレルヒ少佐の遺徳を顕彰するイベント。初日の前夜祭では、レルヒ冬の火花大会、たいまつ滑降など、2日目の本祭では、当時のスキー術を再現した一本杖スキーの披露や講習会、雪中宝さがし、地元の小学生による金谷山太鼓の披露などが開催されます。レルヒウィーク期間中は、高田本町商店街を中心とした食の陣やなべまつりなどが開催されます。平成23年は「日本スキー発祥100周年」の節目の年でもあります。

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/kankou/index.html>

- 開催日時：前夜祭：平成22年2月6日（土）
本祭：平成22年2月7日（日）
レルヒウィーク：
平成22年1月30日（土）～2月7日（日）
- 開催場所：上越市金谷山スキー場ほか
- 問合せ先：レルヒ祭実行委員会事務局
上越市観光振興課
（TEL：025-526-6901）
上越観光コンベンション協会
（TEL：025-543-2777）

酒天湯子の「どんど祭り」（下駄供養祭） 新潟県新発田市



旅館やホテルにとって下駄は欠かせない商売道具です。「どんど祭り」は、日ごろ世話になっている下駄に感謝し、その供養と月岡温泉の発展を祈る行事です。上半身裸の若衆約150人がたいまつ片手に温泉街を威勢よく駆け抜けます。会場に到着すると、使い古した下駄数百足が積み上げられた高さ10メートル余りの塔（賽の神）を囲み、花火とともに一斉に点火します。夜空に燃え上がる炎は雪を照らし、幻想的な世界を造りだします。

<http://www.tsukiokaonsen.gr.jp/>

- 開催日時：平成22年2月22日（月）
- 開催場所：月岡カリオンパーク
- 問合せ先：月岡温泉観光協会
TEL：0254-32-2314

赤谷どんづきまつり

新潟県新発田市



厄年の男衆が中心となり、ふんどし・はちまき姿で神社の境内に集まり、心身を清めて厄を祓う伝統行事です。

厳寒の雪の中での裸の押し合いは熱気にあふれています。

<http://www.shibatappc.com/kanko/>

- 開催日時：平成22年2月20日（土）
- 開催場所：上赤谷鎮守山神社（新発田市上赤谷）
- 問合せ先：（財）新発田市まちづくり振興公社
TEL：0254-26-6789

第6回城下町しばた全国雑煮合戦

新潟県新発田市



全国各地の雑煮が新発田に集結。地元の食材をいかした雑煮も加わり、日本一の雑煮を決めるイベントです。雑煮の「もち」は、子供達が田植えや稲刈りを行った新発田産の「こがねモチ」。例年1万人を超える来場者があり、冬の新発田の代表的なイベントです。

<http://www.shibata-cci.or.jp/yeg>

- 開催日時：平成22年1月10日（日）
- 開催場所：新発田城址公園
- 問合せ先：新発田商工会議所
TEL：0254-22-6789
新発田市観光振興課
TEL：0254-22-3101

勝山左義長まつり

福井県勝山市



勝山左義長まつりは一番（ふれ）太鼓を合図に始められます。市街地の各町内に12基の櫓を建て、その上で赤い長襦袢姿の大人達が子供を交えながら、三味線、笛、鉦の伴奏と「蝶よ花よ～」の囃子唄にあわせて太鼓を叩きながら踊ります。街中に「蝶よ花よ～」が響き渡り、荒縄に吊るした赤、青、黄などの短冊が飾られ祭りに彩りを添えます。

さらに、町内ごとに競って作られる「作り物」は、その年の「干支」にちなんだ作品が多く、生活用具を素材に「にわか」的に作り上げた勝山独特の作品です。また、櫓周りの外灯には、風刺入りの絵行灯が立ち並びます。

他にも、投句、郵送によって募集された川柳を展示する「川柳コンクール」、市内の子ビッコ達が太鼓の腕前を披露する「子供ばやしコンクール」などが行われます。

そして、祭りの最後に、各家から集められた正月の松飾やしめ縄を御神体に結び付け、弁天河原に集め、御神火によって一斉に焼かれる「ドンド焼き」が行われます。これによって、その年の五穀豊穰と鎮火が祈願されます。

こうした独特の祭りは全国的にも珍しく、奇祭として知られるようになり、平成20年には福井県の無形民俗文化財に指定されました。

- 開催日時：毎年2月 最終土、日曜日
- 開催場所：勝山市街地各町内
- 問合せ先：勝山市商工観光部観光政策課
TEL：0779-88-8117

年（歳）の市

福井県勝山市



「年（歳）の市」は、江戸時代から年末の12月26日、新暦になってからは1月26日に、本町通りで行われてきました。近郷山家の素人商人、町商人、旅商人も交え、神仏の飾棚、年頭の縁起物、台所用品、下駄、その他食料品など農家の副業製品が売り出されました。「勝山のみ市の市にないものは馬の角だけ」といわれるほど何でも揃っていました。現在は1月最終週に開催され、木工品、民芸品、特産物などの店が揃い、早朝より賑わいます。

また、福井県が認定した「村の達人」により、その優れた技能を披露するコーナーも設けられるようになりました。

昨年は、北谷町の達人 山本トメヲさんらによる伝承料理「鯖のなれずし」、北郷町の「鮎の巻きずし」、野向町の「えごま油」などの勝山の味が観光客に人気を集めました。

その他にも、そば打ちの実演販売を行ったり、「里芋の煮っ転がし」「里芋の田楽」「ぜんざい」「あまご寿司」「炭」「もち」「とうふ」「おやし」「岩魚の塩焼き」「飾り畳」など様々な品が販売されました。

- 開催日時：毎年1月 最終日曜日
- 開催場所：本町通り商店街
- 問合せ先：勝山市商工観光部観光政策課
TEL：0779-88-8117

六日祭り（花奪い祭り）

岐阜県郡上市



毎年1月6日に長滝白山神社で「六日祭」が行われ、国重要無形民俗文化財の「長滝の延年」が古式ゆかしく奉納されます。延年とは本来寿命を延ばすというめでたい言葉ですが、平安・鎌倉時代に奈良・京都の大寺院で催される遊宴芸能を指す言葉になりました。「長滝の延年」は、白山中宮長滝寺で大晦日から7日間行われた修正会の最後の日に若い僧や稚児が芸能で

僧侶や神主をねぎらい、また新年にあたり国家安穩、五穀豊穰を祈るものでした。「延年」の途中から勇壮な花奪いが行われるため、「花奪い祭り」とも呼ばれます。この花を持ち帰ると、豊蚕、豊作、家内安全、商売繁盛になるといわれています。

<http://www.gujokankou.com>

- 開催日時：平成22年1月6日（水）
- 開催場所：白鳥町 長滝白山神社
- 問合せ先：郡上市役所商工観光部観光課
TEL：0575-67-1808

企画展「ちょっと昔の道具たち」

岐阜県岐阜市



130～30年くらい前の「ちょっと昔」の道具を紹介する展覧会。学校の教室や、駄菓子屋、写真館などが並ぶ街角、家のなかの様子などを再現。そのなかで、様々な道具を実際に動かすことができます。また、ボランティア「ものしり博士」が、見学のお手伝いをいたします。

<http://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/>

- 開催日時：平成22年1月8日（金）～3月7日（日）
- 開催場所：岐阜市歴史博物館
- 問合せ先：岐阜市歴史博物館
TEL：058-265-0010

郡上本染 鯉のぼり寒ざらし

岐阜県郡上市



郡上の冬の風物詩、鯉のぼりの寒ざらしが大寒の1月20日と2月7日に行われます。県の重要無形文化財である「郡上本染」の手法で描かれた鯉のぼりを清流にさらし、布についた糊を落とす作業で、冷たい清流で洗うと布が引き締まり鮮やかな色になるということです。身を切るような寒さの中、郡上本染の技術の伝承者たちが伝統の技を披露します。

<http://www.gujokankou.com>

- 開催日時：平成22年1月20日（水）、2月7日（日）
- 開催場所：八幡町 吉田川（新橋と宮ヶ瀬橋の間）
- 問合せ先：郡上市役所商工観光部観光課
TEL：0575-67-1808

**かがやきライフタウン大垣2009
冬のつどい** 岐阜県大垣市



「かがやきライフタウン大垣2009」は、市の地域資源を生かしながら、文化、スポーツ、福祉、環境、緑化、防犯・防災など、様々な分野において、市民の皆さんの能力や個性を発揮できる場を創出し、住みよいまちづくりを進める「かがやきライフタウン構想」の普及・啓発を図るため、季節ごとに開催しているイベントです。

「かがやきライフタウン大垣2009 冬のつどい」では、65歳の方を対象に、「かがやき熟年式式典」を開催するとともに、市民活動の発表や参加を促進する機会として開催します。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/0000003034.html>

- 開催日時：平成22年2月27日（土）～28日（日）
10:00～16:00
- 開催場所：大垣市サイトピアセンター
- 問合せ先：大垣市かがやきライフ推進部
市民活動推進課
TEL:0584-81-4111（内線393）

第29回蒲郡市農林水産まつり
愛知県蒲郡市



蒲郡市内農林水産関係団体等の参加のもと、市民に農林水産業への知識と理解を深めていただき、その振興と発展を目的として、農林水産まつりを開催します。会場では、みかん、いちご、野菜などの農産物、あさり、のりなどの水産物即売会、奥三河の町村の物産展、宮城県川崎町の産物出品などが催されます。また、特別企画コーナーにて、各種イベントも用意しておりますので、お子様連れのご家族でも楽しんでいただけます。昨年はインターネット等メディアにも紹介され、蒲郡市外のお客さんも来られました。

<http://www.city.gamagori.aichi.jp/sangyo/norin/matsuri/index.html>

- 開催日時：平成22年2月6日（土）～7日（日）
- 開催場所：蒲郡市競艇場
- 問合せ先：蒲郡市産業環境部産業振興課
TEL：0533-66-1126

花まつり 愛知県北設楽郡東栄町

「花祭り」は、鎌倉・室町時代より約700年間伝承されており、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

五穀豊穡、無病息災などを願い稚児や青年の舞、鬼の舞などおよそ40種類もの舞が夜を徹して行われます。全国各地より多くのファンが訪れ、舞に酔いしれます。なお、地区により日程が異なりますので、詳細はお問い合わせ下さい。

<http://www.town.toei.aichi.jp>

- 開催日時：平成21年11月上旬～平成22年3月上旬
各地区の開催日は、東栄町ホームページでご確認ください。
- 開催場所：町内11ヶ所
- 問合せ先：東栄町役場経済課
TEL：0536-76-1812

東海フラワーショウ2010
愛知県東海市



今回で18回目となる東海フラワーショウは、全国有数の出荷量を誇る東海市の洋ランなどを一堂に集めた、花と緑の祭典です。生産者の皆さんが丹精込めて育てた洋ランなどで創意工夫をこらして飾り付けた展示ブースは必見です。特に、今回は市制40周年を記念した特別なメインブースを予定しています。フラワーコンテスト入賞花の展示や東海市の作出品種の展示も行います。また、会場内では洋ランなどの即売会、園芸相談、抽選会、生け花展示なども行われます。

<http://www.tokai.aichi.jp>

- 開催日時：平成22年1月23日（土）
10：00～18：00
- 1月24日（日）
9：00～16：00
- 開催場所：東海市民体育館
- 問合せ先：東海市農務課
TEL：052-603-2211
TEL：0562-33-1111（内線523）

香恋の里は冬も元気だ！

愛知県豊田市

厳しい寒さを吹き飛ばそうと開催されるこのイベント。手づくり料理コーナーでは、下山産の食材を使った料理づくりや郷土に伝わる伝統のお菓子づくりを体験できます。ここでしか食べることができないイノシシコロッケや特産の米「ミネアサヒ」のおにぎり、手打ちそば、漬物などを提供する飲食コーナーも人気です。また、ステージでは小学生による郷土芸能「三河万歳」の披露などが行われます。作って食べて鑑賞して、心も体も温まるイベントです。

<http://www.karennosato.com>

- 開催日時：平成22年2月中旬
- 開催場所：手づくり工房山遊里（豊田市羽布町）
- 問合せ先：手づくり工房山遊里
TEL：0565-91-1186

みんなで活かそう！地域ブランド ～すべての事業者に送る知的財産セミナー～ 三重県鈴鹿市



近年、内需創出に向けた企業戦略として、知的財産を活用したイノベーションが求められています。地域ブランドも、知的財産のひとつです。商品化・市場化にあたり、地域ブランドを消費者視点で考える講演会や、地元で獲れた農水産物を使った鈴鹿フードの試食・発表会などの体験型セミナーを行います。

また、同時開催として、鈴鹿の伝統的工芸品である「伊勢形紙」の展示会もあります。

本セミナーを通して、地域ブランドを活かし、地域の活性化につながればと思います。

この機会にぜひご来場ください。

<http://www.city.suzuka.lg.jp/>

- 開催日時：平成22年2月21日（日）
- 開催場所：鈴鹿市文化会館
- 問合せ先：鈴鹿市産業政策課
TEL:059-382-9045（内線3614）

日野ひなまつり紀行

滋賀県日野町



春の訪れが待ち遠しい頃、お雛様が温かな微笑で、心に春をもたらしてくれます。どこか懐かしい、いつか来たことのあるような近江・日野の街並み。街角の家々にたくさんのお雛様が飾られ、にこやかに迎えてくれます。一足早く春を感じられる近江路への観光旅行。町・人・心・お雛様。温かい出会いの旅。滋賀県日野町に故郷を見つける旅に是非お越しください。

<http://sajikimado.gozaru.jp/hinohinamturikikouhtm.html>

- 開催日時：平成22年2月7日（日）～3月7日（日）
- 開催場所：日野町村井、大窪周辺
- 問合せ先：日野観光協会
TEL：0748-52-6577（直通）

みつ梅まつり

兵庫県たつの市



今回で18回目を迎える「みつ梅まつり」は、春の訪れを告げる恒例のイベントとして、市木の「梅」と「世界の梅公園」のPR、また、地域住民のふれあいの場を創出するとともに地場産業の発展と地域の活性化を図ることを目的に開催されます。郷土芸能発表や人気キャラクターショー等の各種ステージアトラクションほか、園内では、豪快!鯛すくい、ふれあい動物園などの参加型アトラクションがあり、大人から小さな子どもまで楽しめます。

また、歩こう会(主催：たつの市観光協会御津支部)も同日開催されます。

- 開催日時：平成22年2月11日(木・祝)
10:00~14:30
- 開催場所：御津自然観察公園内「世界の梅公園」
- 問合せ先：たつの市御津総合支所地域整備課
TEL：079-322-1004

みつ菜の花まつり

兵庫県たつの市



菜の花畑が一望できる会場で、ステージイベントとして地元の児童・生徒による演奏や地元芸能発表及び各種団体の出演により祭に花をそえます。会場内では、地元特産品などの各種模擬店、特別会場では、移動動物園、フワフワ遊具、豪華賞品が当たる抽選会が行われ、地域住民相互の親睦をはじめ、多くの人々のふれあいの場が提供されます。

- 開催日時：平成22年3月28日(日) 9:30~14:30
- 開催場所：綾部山梅林入口「羽子池駐車場」
- 問合せ先：たつの市御津総合支所地域整備課
TEL：079-322-2243

柏原厄除大祭

兵庫県丹波市



八幡神社境内の厄除神社で行なわれる例祭は、昔より「厄神さん」として親しまれ、毎年数万人の参拝者が訪れます。大祭の2日間は町中に出店が並び、町が人であふれかえるほどの賑わいです。

宵宮の「青山祭壇の儀」は日本最古の厄除け神事といわれ、厄除の提灯と照明が全て消された暗がりの中で行われます。この神事は、京都岩清水八幡宮と柏原八幡神社だけに伝わる珍しいものです。

柏原八幡神社は、1024年、京都石清水八幡宮の分霊の別宮として創建され、安土桃山時代再建の本殿と拝殿は国の重要文化財に指定されています。

[http://www.tambacity-](http://www.tambacity-kankou.jp/modules/news/article.php?storyid=43)

[kankou.jp/modules/news/article.php?storyid=43](http://www.tambacity-kankou.jp/modules/news/article.php?storyid=43)

- 開催日時：平成22年2月17日(水)~18日(木)
- 開催場所：八幡神社
- 問合せ先：丹波市観光協会柏原支部
TEL：0795-73-0303

第8回春旬祭

兵庫県明石市

イカナゴの新子漁解禁の時期に合わせ、3月6日(土)、7日(日)に魚の棚商店街、明石銀座商店街等を会場としてメインイベントを開催。市内商店街の中から自慢の逸品を持ち寄ってブースを出店する「わくわく元気市」や「イカナゴくぎ煮コンテスト」、「イカナゴ磯辺揚げの試食」、明石駅前の11商店街にあるお店から明石の逸品を集めた「一店逸品コンテスト」等のイベントを実施(予定)し、明石の春をお楽しみいただきます。

<http://www.akashi-info.jp>

- 開催日時：平成22年3月6日（土）、3月7日（日）
- 開催場所：明石駅南の11商店街
メインイベント会場（魚の棚商店街、明石銀座商店街、本町商店街）
- 問合せ先：明石商工会議所
TEL：078-911-1331
明石地域振興開発㈱
TEL：078-915-5210

- 開催日時：平成22年1月16日（土）
14：00試合開始予定
- 開催場所：加古川市立総合体育館
（加古川市西神吉町1010）
- 問合せ先：加古川市立総合体育館
TEL：079-432-3000（代表）
加古川市ウェルネス推進課
TEL：079-427-9180（直通）

**男子第64回・女子第25回兵庫県都市区
対抗駅伝競走大会**
兵庫県加古川市

加古川市の新春を飾る兵庫県都市区対抗駅伝競走大会が、県下45郡市区の男女代表チーム参加のもと、男子7区間42.195km、女子5区間21.0975kmで、加古川河川敷マラソンコース「みなもロード」にて開催されます。この駅伝は、各郡市区の名誉がかかるだけに、駅伝王国兵庫を支える箱根駅伝ほか全国で活躍する兵庫県出身選手が多く出場します。また、会場では、県内の特産品を集めた「県下物産展」を開催しています。みなさんに楽しんでいただける趣向を凝らしますので、ぜひお越しください。

<http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/>

- 開催日時：平成22年2月7日（日）
- 開催場所：兵庫県立加古川河川敷マラソンコース
加古川町友沢（防災センター前）
～池尻橋南5kmの間
- 問合せ先：加古川市ウェルネス推進課
TEL：079-427-9180（直通）

**2009/10 V・プレミアリーグ女子
加古川大会**
兵庫県加古川市

加古川市においては、スポーツメッカづくり創出事業の一環として総合体育館において女子バレーボールのV・プレミアリーグを開催いたします。

この事業において、市民及び市外からの多くの観戦者にプロ選手のすばらしいプレーを提供するとともに、「V・プレミアリーグ」の開催都市として定着させていただきます。

- ・第1試合 NEC 対 デンソー
- ・第2試合 久光製薬 対 岡山
- ・チケット発売中
- ・ // 発売場所：加古川市立総合体育館、チケットぴあ

<http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/>

すいせん祭
和歌山県日高郡由良町



和歌山県立白崎青少年の家には、南紀最大規模の野生種水仙群生地があり、毎年水仙を見学する大勢の観光客で賑わいます。水仙は、由良町花としても広く親しまれており、特に、八重咲きの水仙は、香りもよいと評判です。

和歌山県立白崎青少年の家では、水仙の開花時期にあわせ、毎年すいせん祭を開催しています。美しい水仙を見学しながら、木工クラフトや陶芸体験、展望風呂の開放等、様々なイベントが楽しめます。

<http://www.zb.ztv.ne.jp/shirasaki/>

- 開催日時：平成22年1月24日（日）
10:00～15:00
- 開催場所：和歌山県立白崎青少年の家
- 問合せ先：和歌山県立白崎青少年の家
TEL：0738-65-2351

箏と尺八の合奏 ～成人の日を祝して～
広島県呉市



重要文化財である旧呉鎮守府司令長官官舎和館部を開放して行われる箏と尺八の合奏。演奏は「呉市入船山記念館邦楽演奏実行委員会」のみなさんです。

<http://www.kurenavi.jp/html/m000001.html>

- 開催日時：平成22年1月11日(祝) 13:30~16:00
- 開催場所：旧呉鎮守府司令長官官舎 和館部
- 問合せ先：呉市入船山記念館
TEL:0823-21-1037

梅加工品の試食・販売のほか、土・日には、もちまき、梅の種とばし大会、ピンゴゲームなどのイベントもあり、多くの観光客が訪れます。

<http://www.nanaore-koume.jp/index.html>

- 開催日時：平成22年2月20日(土)~3月10日(水)
- 開催場所：七折梅園(愛媛県伊予郡砥部町七折)
- 問合せ先：ななおれ梅組合
TEL：089-962-3064
砥部町観光協会
TEL：089-962-7288

浪漫ピアノコンサート

広島県呉市



重要文化財である旧呉鎮守府司令長官官舎洋館部客室を開放して、大正生まれのピアノの音色を楽しむコンサートです。演奏は「愛音の会」のみなさんです。

<http://www.kurenavi.jp/html/m000001.html>

- 開催日時：平成22年3月21日(日)
①11:00~ ②13:00~
- 開催場所：旧呉鎮守府司令長官官舎洋館部客室
- 問合せ先：呉市入船山記念館
TEL:0823-21-1037

七折梅まつり (第20回)

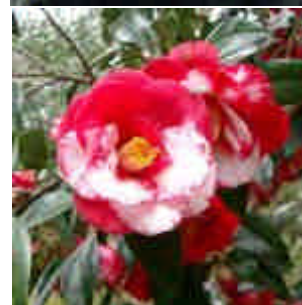
愛媛県砥部町



七折梅園の丘いっばいに咲き誇る1万6千本の梅の木の花姿や香りを楽しむことができます。

2010国際ツバキ会議久留米大会及び 第20回全国椿サミット久留米大会

福岡県久留米市



世界規模、全国規模の大会開催を契機に、久留米の地域資源である「つばき」を久留米の魅力として情報発信し、緑化産業の振興や地域の活性化につなげていくことを目的として開催します。<http://kurumetsubaki.jp> (内容)

大会関連事業として、ツバキフェアやフォーラムなど市民のみなさんがツバキに親しむことができるイベントを実施します。

①ツバキフェア(つばきの歴史、名所を紹介する展示、体験コーナー、バザーなど)
会期/平成22年3月20日(土)~22日(月)
会場/石橋文化センター

②ツバキフォーラム(つばきの歴史や花の魅力、ツバキ油などの効用などをご紹介)
会期/平成22年3月20日(土) 14:30~
会場/石橋文化ホール

- 開催日時：国際ツバキ会議
平成22年3月20日（土）～24日（水）
全国椿サミット
平成22年3月20日（土）、21日（日）
- 開催場所：石橋文化センター
久留米つばき園
- 問合せ先：2010国際ツバキ会議久留米大会及び
第20回全国椿サミット久留米大会実行委
員会事務局
（農政部みどりの里づくり推進課内）
TEL：0942-30-9165
FAX：0942-30-9717

ふる里かわら梅まつり

福岡県香春町

歴史的にも由緒があり、古くから梅の名所である神宮院・高座石寺（こうそうじ）一帯で開催されます。勇壮な護摩炊きをはじめ、お茶会等が催され、いにしへの香り豊かな上品な祭です。

<http://www.town.kawara.fukuoka.jp/index2.html>

- 開催日時：平成22年3月7日（日）
- 開催場所：香春町大字香春（神宮院・高座石寺周辺）
- 問合せ先：香春町観光協会
TEL：0947-32-2070

かねまつり

～環境・防災ネットワーク博覧会～

佐賀県唐津市



かねまつりは、環境と防災について、市民みんなで考え、体験する機会を作るために、環境や防災活動を行っている団体や企業に参加を呼びかけて開催しています。

回を重ねるにつれて、環境や防災に対する意識も高まり、昨年は、30団体からの出展参加がありました。それぞれの団体や企業の活動報告やエコ商品の展示、リユース食器での食事体験など、環境を守るための身近なエコ活動を紹介したり、防災意識を高めるために被災し

た時の食事の体験などを予定しており、子どもも大人も、来て見て体験して、環境、防災について楽しく、学び、考えてもらえるようになっています。

<http://www.karatsucity.com/~kanne/>

- 開催日時：平成22年1月31日（日）
- 開催場所：アルピノ（JR唐津駅そば）
- 問合せ先：唐津環境防災推進機構KANNE
TEL：0955-80-7060

破魔弓祭（的ばかい）

熊本県玉名郡長洲町



約850年の歴史を持つ「破魔弓祭（的ばかい）」は、毎年1月に開催される長洲町の伝統行事。安土・桃山時代に氏子達のご利益幸福を得ようとご神体を安置した円座を奪い合ったことが「的ばかい」の起源とされています。“的”とは、ワラと麻で編み当事の円座をかたどったもので、直径60cm・重さ6kgあります。

“ばかい”とは、“奪い合う・取り合う”という意味の方言です。

まつり当日は、拜殿で神事が行われ、神社の境内から有明海まで「的」を奪い合います。締め込み姿の男達が激しくぶつかり合いながら「的」を奪い合う姿は迫力満点です。

<http://www.town.nagasu.lg.jp/>

- 開催日時：平成22年1月17日（日）
- 開催場所：四王子神社
- 問合せ先：長洲町役場 まちづくり課
TEL：0968-78-3111
（内線221・222）

義士まつり

熊本県山鹿市



日輪寺（山鹿市杉）の境内には、大石内蔵助良雄をはじめ赤穂義士17士の遺髪が納められた遺髪塔がありません。

当時、江戸の細川藩邸で赤穂義士の接待役を務めた堀内伝右衛門が、赤穂義士の振る舞いに感銘を受け、自分が治めていた現在の山鹿市に遺髪を持ち帰り、遺髪塔を建立し手厚く供養しました。以来、供養は続けられ、毎年2月初旬に義士まつりが行われています。

当日は、忠臣蔵に関する講演や打ち入りそばの振る舞いなどがあります。

来年度は忠臣蔵サミットも山鹿で行われる予定です。

<http://www.y-kankoukyoukai.com/>

- 開催日時：平成22年2月上旬（2月4日(木)予定）
- 開催場所：日輪寺
- 問合せ先：山鹿温泉観光協会

山鹿灯籠浪漫・百華百彩

熊本県山鹿市



歴史的な街並みに、灯籠と番傘を使った灯りのモニュメントが美しく並び、幻想的な灯りが歩く人々の目を楽しませてくれる灯りの祭典です。温かい灯りに心打たれ、奥深い歴史の刻まれた道を歩いていると、まるでその時代にタイムスリップしたかのようです。

毎週オブジェが増えていくので、何度来ても楽しむことができます。

また期間中は、山鹿太鼓と山鹿灯籠踊りが、国指定重要文化財の八千代座で公演されます。勇壮な太鼓と優美な灯籠踊りで、山鹿の風情を堪能してください。

<http://www.y-kankoukyoukai.com/>

- 開催日時：平成22年2月の金・土曜
- 開催場所：八千代座周辺（豊前街道）
- 問合せ先：山鹿温泉観光協会

天草パールラインマラソン大会

熊本県上天草市



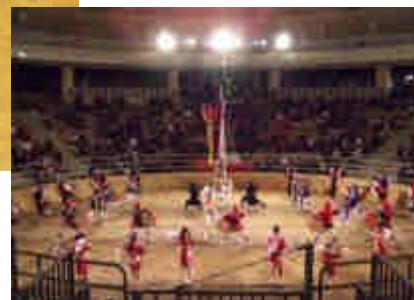
天草パールラインマラソンは、「遅いあなたが主役です」のキャッチフレーズのもと、今年で38回目の開催となります。上天草市の海岸線を走る風光明媚なコースで、日本の健康マラソンの発祥の地として知られる伝統の大会です。マラソン初心者の方でもタイムを気にすることなく、春の天草路を楽しみながら走ることが出来ます。男性30歳以上、女性18歳以上（ファミリーの部は年齢制限なし）の方ならどなたでも気軽に参加できます。

<http://www.kamiamakusa-c.kumamoto-sgn.jp/>

- 開催日時：平成22年3月14日(日)
- 開催場所：上天草物産館さんぱーる広場
- 問合せ先：天草パールラインマラソン大会事務局
TEL：(0964) 56-4701

“感動体験沖縄”

～闘牛&エイサー 夢のコラボ！！～
沖縄県うるま市



沖縄の闘牛は、スペインの闘牛のように人と牛が闘うものではなく、牛同士を一对一で闘わせるのが特徴で、牛の大きさや必死に闘う姿に圧倒されます。エイサーは、旧暦7月15日(旧盆)の夜、青年男女が伝統的な衣装をまとい、太鼓を手に集落を踊り巡るものです。大声を出し、汗をかきながら、力強く太鼓を叩く男性の姿や、女性の華麗な手踊り姿には、感心と感動が得られるでしょう。そんな二つの魅力を同じ会場で見ることができるのは、沖縄の中でもこのイベントだけ！ぜひ、沖縄での思い出作りに感動体験してみませんか？

- うるま市商工会

<http://www.uruma-shoko.jp/>

- うるま市役所

<http://www.city.uruma.lg.jp/4/3560.html>

- 開催日時：平成22年1月23日(土)
1月24日(日)
- 開催場所：うるま市石川多目的ドーム
- 問合せ先：うるま市商工会
TEL：098-965-4441
うるま市観光課
TEL：098-965-5634

平成21年度農林水産祭（むらづくり部門）の選賞

○農林水産祭とは

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善と経営発展の意欲を高めることを目的に、昭和37年から「勤労感謝の日」を中心に各種催しを実施しています。

表彰の式典では、「農産」、「園芸」、「畜産」、「蚕糸・地域特産」、「林産」、「水産」及び「むらづくり（昭和54年度創設）」の各部門の最優秀者・団体に対し、天皇杯が宮内庁を通じて下賜されます。

受賞一覧（むらづくり部門）

選 賞 名	都道府県名	市町村名	団 体 名
天 皇 杯	佐 賀 県	小 城 市	小城市農産物直売所「ほたるの郷」
内閣総理大臣賞	沖 縄 県	糸 満 市	糸満市喜屋武集落
日本農林漁業振興会会長賞	島 根 県	雲 南 市	槻之屋振興会

天皇杯受賞地区の紹介

～地域の情報と人をむすぶ「ネットワーク型直売所」を核としたむらづくり～

「ほたるの郷」は、地域のモノと人と情報をむすぶ「総合ネットワーク型直売所」として活動を展開し、農産物販売のみならず集出荷機能、起業支援、食育支援、特産品開発、観光情報発信などの多機能を発揮する組織として平成15年の開所より地域のむらづくり・活性化のコーディネート役を担っています。

農水産物をはじめ、ホタル、棚田、有明海など多様な地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムへの発展や、小城市の新たな施策であるスローライフ運動、県民協働で取り組む「さが“食”と“農” 絆づくりプロジェクト」との連携から直売所の多角化が実践されており、傘下団体は着実に取組実績を伸ばしています。

内閣総理大臣賞受賞地区の紹介

～地域の自治会活動と農業振興が両輪一体となったコミュニティの形成～

沖縄本島の最南端に位置する糸満市喜屋武地域では、戦後の復興期より女性が地域の「農」と「むら」を興してきた経緯が色濃く引き継がれていることに加え、強固な住民団 結力を育み、地域ぐるみの自治会活動が中心となって域内の産業振興、とりわけニンジンの産地形成を牽引してきました。このような取組により、高い畑作水準と心ゆたかなむらづくりへの気運が醸成されています。

地域振興上、不利な地理的立地のため環境整備面での遅れも多く見られますが、集落住民の意向の集約や社会基盤整備の促進に向けた運動を自治会が着実に担っています。

日本農林漁業振興会会長賞受賞地区の紹介

～癒しの集落営農が創り出す未来～

「槻之屋振興会」は、少子・高齢化や過疎化が進む中で、地域の活動拠点である公民館の移転問題を契機に、集落の存亡に危機感を持った住民たちが多面的なむらづくり活動に取り組んできました。平成18年からはコースワークキャンプを受け入れるとともに、高校生による農業体験学習も積極的に受け入れるなど、農村の厳しさと豊かさを伝えるための交流の輪を広げています。また、伝承が危ぶまれていた県の無形民俗文化財「槻之屋神楽」の担い手を雲南市全域から募集するなど文化の伝承にも努めています。

事務局からのお知らせ

●お詫びと訂正

季刊「新往来」第34号（平成21年9月18日）の記載内容に誤りがありました。正しくは、次のとおりです。お詫びと訂正いたします。なお、訂正内容を反映した冊子の電子データについては、農林水産省ホームページよりご覧頂けます。

<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>

P20

「田舎暮らしワーキングホリデー開催中！ 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町」の掲載写真のうち、



左の写真は、P4「ふるさと産品直売所黒竹の里 ぴかいち 和歌山県日高郡日高町」に関する写真でした。



正しくは、左の写真です。

P27

(誤)「いすみ市大原ふる里物産まつり 千葉県いすみ市」

(正)「いすみ市大原ふる里物産まつり 千葉県いすみ市」

P32

(誤)「印南野そば倶楽部主催の『そばin田園コンサート』
兵庫県西脇市」

(正)「印南野そば倶楽部主催の『そばin田園コンサート』
兵庫県稲美町」

●お詫びと訂正（つづき）

P33

「第17回白旗城まつり 兵庫県上郡町」
都合により中止

P34

(誤)「第3回大収穫祭IN九度山 和歌山県久度山町」

(正)「第3回大収穫祭IN九度山 和歌山県九度山町」

P34

「第3回大収穫祭IN九度山 和歌山県九度山町」の掲載写真のうち、左の写真は、P20



「田舎暮らしワーキングホリデー開催中！ 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町」に関する写真でした。

●皆様からの情報提供をお待ちしております！

「交流情報誌 季刊 新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたら、ぜひご連絡下さい。

次号（第36号）の発行は、平成22年3月中旬を予定しておりますので、記入様式に必要事項をご記入の上、1月下旬までに各都道府県又は下記の編集・発行元までお送り下さい。記事に関連する写真・イラストがありましたら併せてお寄せ下さい。記入様式をご要望の場合は、お手数ですが下記の編集・発行元までご連絡下さい。

皆様からお寄せいただいた情報についてはできる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

特集記事募集

次号特集では、「海外の都市（姉妹都市・友好都市等）との交流による地域活性化への取組」について募集します！

みなさまからの情報お待ちしております。

編集・発行

農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 農村政策班

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3502-6001(ダイヤルイン)

FAX:03-3501-9580

- 農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

農林水産省 (<http://www.maff.go.jp>) → 農村振興 → 都市と農山漁村の共生・対流 (季刊 新往来) (<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>)

